

事務事業名 雲南広域連合(環境)運営事業		所属部 市民環境部	所属課 環境政策課
総 計 画 体 系	政策名 (Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G 環境グループ	課長名 土屋 和則
	施策名 (10)自然と地域環境の保全	担当者名 村松 優	電話番号 0854-40-1033 (内線) 2125
	目的 対 象 市民	予算科目 0 1 2 0 0 1 1 0 2 0 2 6	大 事 業 名 大 事 業 名 中 事 業 名 中 事 業 名
	基本事業名 (030)廃棄物(ごみ)の減量と適正処理の推進		
意 図 自然環境、景観を守る意識を高め、地球環境に配慮した生活をおくるとともに創造する。			
目的 対 象 市民	意 図 ごみを減量するとともに適正に処理する。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市、奥出雲町、飯南町のし尿、汚泥の共同処理に係る負担金を雲南広域連合に支払う。 (維持管理負担金・起債償還負担金・特別市町負担金(地方交付税分)の支払い) 環境衛生調整会議への出席

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 負担金の支払い、会議への出席		30年度計画(30年度に計画する主な活動) 前年度と同じ			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	ア 会議開催回数	回	2	3	4	4	
	イ 負担金交付回数	回	12	12	12	12	
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	雲南市民	ア 市民	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
し尿、汚泥を適正に処理する	ア し尿量	kl	5,200	5,344	4,098	4,140	
	イ 汚泥量	kl	15,700	15,535	15,764	15,992	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
・負担金52,531千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円	107,200	166,700	24,200
		その他	千円			
	一般財源	千円	81,465	92,141	28,331	39,412
	事業費計(A)	千円	188,665	258,841	52,531	39,412
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3
延べ業務時間		時間	50	50	50	
人件費計(B)		千円	196	198	204	
トータルコスト(A)+(B)	千円	188,861	259,039	52,735		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
し尿、汚泥を共同処理するため昭和36年に設立された雲南環境衛生組合は、平成23年3月に解散し、同年4月に雲南広域連合に統合した。 下水道の普及に伴い、し尿は減少しているが、浄化槽汚泥は増加している。	雲南クリーンセンター(し尿処理施設)の老朽化に伴い、平成18年から1市2町で汚泥処理集約化等検討幹事会を組織し検討を進め、平成25年度から、し尿・浄化槽汚泥・公共下水道汚泥・農業集落排水汚泥を一体的に共同処理する施設の整備を行い、平成29年度に完成した。	事務局内部(関係市町)で、し尿・浄化槽汚泥・公共下水道汚泥・農業集落排水汚泥を一体的に共同処理する施設の完成により効率的かつ、安定的な生活排水処理がなされ、今後より一層の効率的な運用が求められる。

事務事業名	雲南広域連合(環境)運営事業	所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由						
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒							
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？								
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？								
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒							
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	適切にし尿及び汚泥の処理を行っており、向上の余地はない						
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない								
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	法に基づく市町村固有の事務であるため、廃止できない					
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有								
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由						
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)							
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	市町村がすべき事務を効率化の観点から共同処理しており、統廃合できない							
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由						
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		一部事務の民間委託をするなど事務の効率化を図っている					
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない								
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由						
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		一部事務の民間委託をするなど事務の効率化を図っている					
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない								
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由						
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		雲南市で発生するし尿、汚泥を対象としており、公平・公正である					
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である								
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 民間委託等行っており、事務の効率化を図っている						
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり							
<table border="0"> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>				B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり								

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>平成28年度に基幹部分(脱水設備及び受入設備)を整備。  平成29年4月1日付けで下水道処理場へ転換。  平成29年度は外構工事(付帯工事)を実施し、平成29年8月竣工。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。  コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		